



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

補聴器補助について

(令和4年4月)

質問

令和3年3月にも補聴器補助を求める質問をしたが、その後どのように検討したのか。

職場の労働環境(パワハラ・セクハラ)について

(令和3年12月)

町長からパワハラ・セクハラを受けたと役場内の声を聞くが、町長から独立した相談窓口を作るべき。

近隣の自治体等の動向を見極め、検討していきたい

県内では44市町村のうち、古河市のみ1人1回1万円を補助している。

答弁

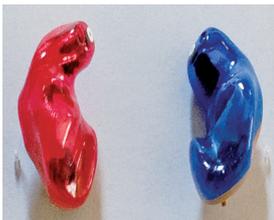
相談窓口として、衛生管理委員会を設置している

パワハラ等を訴えた職員を調べることはしないが、調べなかったらそれが事実になってしまう。

現在の状況は、こうなっています

来年度の予算計上を目指したい

他市町村の動向を調べて、申請方法、補助人数等検討する。



補聴器
赤が右耳
青が左耳

総務課内において相談体制を整備

ハラスメント防止の要綱を定め、人事担当課において①苦情相談を受ける職員(相談員)を置き②苦情相談を受ける日時、場所を指定する等必要な体制を整備している。相談員は、総務課長、補佐、人事担当職員を相談員として配置し、相談を希望する職員の意向を踏まえ対応を行っている。

編集後記

緊張で迎えた高校受験、昼休みに開けたお弁当に母からの手紙が添えられていた。「大丈夫。頑張れ。」この6文字が私の心を軽くしてくれたとの20歳大学生の記事を読み、考えさせられた。と同時に、私は今まで自分の縁する人が困っていた時や、悩んでいた時心を軽くする真心からの一言を、かける事ができただろうかと思いついた。

今、長引くコロナ禍の中で、不安や孤独を感じている方も多いのではないかと思う。その心に寄り添える自分でありたい。

2月に町議会議員選挙があり、新しい広報委員での議会だよりの発行となりました。町民の皆様にも親しまれる議会だよりになるよう取り組んで参りますので、よろしくお願ひ致します。

桜井和子 記

議会広報委員会

委員長 桜井和子
副委員長 藤井美子
委員 高橋裕子
委員 綿引秀子
委員 飯村静子
委員 藤咲美子